



本学図書館では、下記の日程で各種ガイダンスを行いますので、気軽に参加してください。

全てのプログラムはどなたでも参加できます。わからないことがあれば是非この機会に質問してください。

	日 時	内 容	所要時間
1	4/11～4/15 ①10:50 ②15:00 ③17:00 ④18:15	「新入生歓迎ライブラリー・ツアー」 情報検索コーナー 閲覧室（地下書庫閲覧室・第4・第5閲覧室を含む） 書庫などの館内を案内いたします。	約20分
2	4/18～4/22 ①15:00～16:00 ②17:00～18:00	「図書館利用の仕方」 資料の探し方 入手の方法 データベースの使い方 参考図書についての説明をします。	約60分
3	5/6～5/31 随時 (土曜は除く)	「卒業論文・卒業研究作成支援月間」 卒業論文・卒業研究作成の手順 テーマに沿った資料収集の仕方 データベースの使い方 他機関の利用について説明をします。	
4	6/6～6/10 ①15:00～16:00 ②17:00～18:00	「コンピュータによる資料検索」 本学図書館蔵書詳細検索 データベースの使い方について説明をします。	約60分
5	9/26～9/30 ①15:00～16:00 ②17:00～18:00	「卒業論文・卒業研究作成のための資料検索 最終確認編」 テーマに沿った資料の入手方法 データベースの使い方 他機関の利用について説明をします。	約60分

4月のピックアップコーナー

『詩』 — (訳詩集)

小澤 文彦

春の麗らかな日差しを眺めていると「時は春 日は朝 朝は七時…」というブラウニングの詩を思い浮かべたり、中にはその原詩 "The year's at the spring. And day's at the morn; Morn's at seven; …" といった句を口ずさむ人もいることでしょう。外国語の詩といえば、他にもヴェルレーヌの「都に雨の降る如く わが心にも 涙ふる…」、アポリネールの「ミラボー橋の下をセーヌ河が流れ われらの恋が流れる…」などという詩句を思い出して声に出し、その音調を楽しむ人がいるかもしれません。

外国語の詩を訳すのは、ただ語句の意味を日本語に訳すだけではなく、研ぎ澄まされた感覚で構成されたその言語の持つイメージを、日本語で可能な限り移し替えて表現する大変な作業だと思います。ですから、訳詩集を翻れば日本語に訳された詩句に籠められている原詩の持つ美意識や感動が伝わってきて、日本語の水平線が広がり、自分の中の言語感覚が豊かになることでしょう。

嬉しい時に自分の気持ちに相応した詩句を思い浮かべたり、悲しい時、寂しい時に心を癒してくれる詩を詠んだりすることができるということは大切なことです。

以前に、サムエル・ウルマンの『青春』を読んで感動したという人達の言葉をよく耳にしました。「青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。…年を重ねるだけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。…」という詩句を抜き書きし、その紙片をポケットから時々出しては眺め、心を励ましているというものでした。

図書館の多くの訳詩集から自分の好きな詩を見つけて、心の友にしてみてもはどうでしょうか。

おざわ ふみひこ(係・情報サービス課)